

こども新聞
週刊がほピョンプレス

毎週日曜発行

2026 1/25

河北新報社 TEL.022-211-1111(月曜から金曜)

きょうのテーマ

みんなの将来

みんな動こう

みんな知りたい

みんな守ろう

みんなトモダチ



はやさかアドバイザーの

学ぼう防災

34

年末年始、お父さんやお母さんの実家に帰省したり、親戚の家に出かけたりした人も多いのではないのでしょうか。

アドバイザーから一つお願いがあります。もし、帰省先などで「災害が起きたら危ないな」と気付いたことがあれば、ぜひ、おじいさんやおばあさん、親戚の方に伝えてください。

例えば、地震の揺れで

倒れそうな家具はありませんでしたか？ 突っ張り棒や転倒防止の金具などでしたら固定していませんか？

ライトなどの防災用品はすぐ取り出せる場所にありましたか？ 周辺のハザードマップを確認し、地震や津波、土砂災害などの危険性を共有するのにもいいと思います。

最近はスマートフォン

帰省先で防災チェック

を持っていても、上手に使いこなせていない高齢者も多いので、スマートフォンで防災情報や緊急情報を受け取る方法を教えるのもいいかもしれません。日頃から水や食べ物、生活用品を多めに買っておくことが災害時の備蓄になると伝えることも大切です。

年齢を重ねると「今更、対策しても…」と、防災

対策を後回しにしてしまう人も少なくありません。「学校でこう習ったよ」「ここ、地震が起きても大丈夫なの」という皆さんのちょっとした一言が、行動を変える大きな力になります。

2024年の元日に起きた能登半島地震では、人口が減り、高齢の方が多く暮らす地域を中心に大きな被害が出ました。

みんなのおじいさん、おばあさん、親戚の方が住んでいる地域はどうで

しょうか。人口減少や高齢化が進み、防災力が弱まっている地域もあるかと思っています。

一人一人が気付いたことを伝えれば、ご近所に防災意識が広がるきっかけになるかもしれません。小さな取り組みの積み重ねが災害に強い地域をつくります。帰省したときの家の様子を振り返り、家族と話し合ってみてください。

(仙台市防災・減災アドバイザー 早坂政人)

一言が行動を変える力に

伝えて！ 帰省した時の気付き

ハザードマップはスマートフォンでも見られる



家具はしっかり固定してね



入れ歯、老眼鏡、お薬も用意しておくといいよ！



イラスト 伊藤美代

この日 何の日

◇25日(日) 中華まんの日

寒い季節にほかほかの中華まんを食べて身も心も温めてもらおうと、日本加温食品協会(東京)が制定。日付は1902年のこの日、北海道旭川市で日本気象観測史上最低の氷点下41度を記録したことに由来します。

きょうの紙面

- 2面 ニコ☆プチ
- 3面 3分チャレンジ
- 4・5面 わが校わがまち スクール通信
- 6面 キホンがわかる こども英語
- 7面 投稿特集
- 8面 Let's try 防災クッキング